

麻しん排除を目指して!

麻しん・風しんにかからないために!



麻疹・風疹ワクチンを受けましょう

麻しん(はしか)

麻しんウィルスの空気感染によって起こります。感染力が強く、予防接種を受けないと、多くの人がかかる病気です。発熱、せき、鼻汁、めやに、発疹を主症状とします。最初3～4日間は38℃前後の熱で、一時おさまりかけたかと思うと、また39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発疹も消失します。しばらく色素沈着が残ります。

主な合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎があります。患者100人中、中耳炎は約7～9人、肺炎は約1～6人に合併します。脳炎は約1,000人に1～2人の割合で発生がみられます。また、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)という慢性に経過する脳炎は約10万例に1～2例発生します。このように予防接種を受けずに、麻しん(はしか)にかかった人は数千人に1人の割合で死亡します。

風しん

風しんウィルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。

軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。発疹も熱も約3日間で治るので「三日ばしか」とも呼ばれることがあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は患者3,000人に1人、脳炎は患者6,000人に1人くらいです。大人になってからかかると重症になります。

妊婦が妊娠早期にかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる病気により心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った児が生まれる可能性が高くなります。

出典：「予防接種と子どもの健康」より
財団法人予防接種リサーチセンター

定期予防接種

中学1年生と高校3年生に相当する年齢の人は
2008年4月から5年間新たに定期予防接種対象になりました

第1期：1歳

第2期：小学校就学前の1年間(幼稚園・保育所等の年長児)

第3期：中学1年生に相当する年齢の者

第4期：高校3年生に相当する年齢の者

第3・4期

第1期



重要

1歳のお誕生日の
プレゼントに!

第2期



重要

小学校入学準備に!



重要

冬到来前に!
受験シーズン前に!

麻しん・風しんワクチンを2回接種することについては、3つの理由があります。



なぜ2回接種なの?

理由その1：1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられます)に免疫を与えます。

理由その2：1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。

理由その3：1回目に接種しそびれた子どもたちにもう一度接種のチャンスを与えます。